

ヒアリの危険、正しく知っていますか？

もし、ヒアリに刺されたら



ヒアリやアカカミアリの毒への反応は人によって大きく異なります。体調に変化がなくても、20～30分程度は刺された部位を冷たいタオルや保冷剤などで冷やしながらか安んじ、様子を見て下さい。その間、なるべく一人にならないようにしましょう。

全ての人にあらわれる症状

🚩 焼けるような痛み、かゆみ、膿(うみ)

刺された瞬間に、熱いと感じるような、激しい痛みを感じます。そして刺された部位に小さな赤みが出てきて、翌日には赤みの中央に膿がたまつたようになります。軽いかゆみが出ることもありますが、その後は皮膚症状が徐々に改善していきます。

ヒアリ類の毒にアレルギー体質を持っている人に起こる症状

🚩 じんましん

刺された直後から刺された部分を中心に赤みや腫れが起こり、かゆくなります。時には全身にかゆみをとまなう赤みやミズ腫れ(じんましん)が現れることがあります。じんましんが出たり、体調不良などの異常を感じた場合は、すぐに医療機関(病院)を受診してください。

🚩 呼吸困難・血圧低下・意識障害など

刺されて20～30分以内に、息苦しさ、声がれ、激しい動悸やめまい、腹痛などを起こすことがあり、進行すると血圧が急に低下して意識を失うこともあります。このような症状が現れた場合には、強いアレルギー反応による「アナフィラキシーショック」の可能性が高く、処置が遅れると生命の危険を伴いますので、救急車を呼ぶ必要があります。

「アリに刺されたこと」「アナフィラキシーショックの可能性があること」を伝え、すぐに治療してもらってください。刺したアリの死骸を持参すると、診断に役立ちます。

※ヒアリの毒には、ハチ毒との共通成分も含まれているため、ハチ毒アレルギーを持つ方は特に注意が必要です。

「ヒアリかな？」と思ったら ヒアリ相談ダイヤル 0570-046-110 または、お近くの市区町村に連絡してください。

アリが少数の場合	アリの集団や巣を見つけた場合
スプレー式殺虫剤等で殺虫してください。	絶対に刺激せず、すぐにヒアリ相談ダイヤルまたは最寄りの市区町村に連絡してください。
<ul style="list-style-type: none"> ●ヒアリかどうか正確に判別が必要な場合は、ヒアリ相談ダイヤルまたは市区町村に連絡し、郵送または持参する。 ●死骸であっても素手でさわらないこと。 ●判別用のアリはセロハンテープに貼り付けないこと。 	<ul style="list-style-type: none"> ●アリや巣をつついたり、踏んだり、殺虫剤や熱湯をかけたりしないこと。 ●駆除は、状況に応じて専門家に相談しながら実施する必要があります。 ●ヒアリであると確認されるまでは、むやみに毒餌剤をおくことは避けてください。在来のアリやその他の生物を殺してしまい、かえってヒアリが定着しやすい環境をつくってしまうおそれがあります。

改訂版

ストップ・ザ・ヒアリ

ヒアリって、どんなところにいるの？ 私たちの暮らしに、どんな影響があるの？



どんなことに気をつければいいの？

ヒアリは、「火蟻」と書き、毒針で刺されるとやけどのような激しい痛みを感じます。定着してしまうと、暮らしや産業にも大きな影響が出ます。おそれすぎず、油断せず、いざというときにあわてないために、ヒアリについて正しく知っておきましょう。

